

# TPチャートから 授業のオンライン化へ

---

Sli.doという質問のシステムです。こちら任意のブラウザあるいはスマホ等で立ち上げておいてください。

<https://app.sli.do/event/hujvxrt0>

上記を入力するよりも、下記が簡単かも知れません・・・  
・Sli.doと検索してそこで、#に"7204"と入力いただいても入れます。

# 目次

- 第1部 (TP : ティーチング・ポートフォリオ)
  - はじめに
  - TP チャートの更新について
  - TP チャートを更新する
- 第2部
  - オンライン授業で教育理念を実現する

専門 名称	作成 目的	感想	
責 任	↑	理念	目標
	↑	方針	
		方法	
	改善・努力	成果・評価	

# 第1部

# TPチャートの更新

---

はじめに

---

# 目的と到達目標

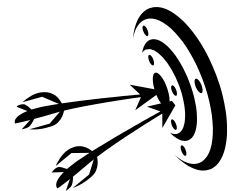
---

- 目的

- TPチャートの更新作業を通して、  
日頃の教育活動の理念・信念に立ち返り、  
よりよい授業に向けた見通しをつける

- 到達目標

- TPチャートの更新を通して、
  - 今年度の「責任」に示す活動を可視化する
  - 教育理念を確認し納得のいくものにする
  - 教育理念と方針・方法の結びつきを確認する
  - 「方法」を見直す
  - 短期目標を更新する



# Zoom を使う ～基本機能～

The image shows the Zoom meeting control bar with several annotations in Japanese boxes and arrows pointing to specific features:

- マイクの設定 ON/OFF** (Microphone settings ON/OFF) points to the microphone icon.
- カメラの設定 ON/OFF** (Camera settings ON/OFF) points to the video camera icon.
- 参加者を招待** (Invite participants) points to the plus sign icon.
- 画面を共有** (Share screen) points to the green screen icon with an upward arrow.
- 賛成や拍手を送信** (Send reactions or applause) points to the smiley face icon with a plus sign.
- 参加者を確認 手を挙げる** (Check participants, raise hand) points to the **参加者** (Participants) button.
- テキストチャットする** (Text chat) points to the **チャット** (Chat) button.
- 録画する (参加者は基本不可)** (Record (participants are generally not allowed)) points to the recording status indicator.

The control bar itself contains the following elements from left to right:

- Mute/Unmute icon (with a slash) and label: **ミュート解除**
- Video On/Off icon (with a slash) and label: **ビデオの開始**
- Invite icon (plus sign) and label: **招待**
- Share Screen icon (green square with upward arrow) and label: **画面を共有**
- Reaction icon (smiley face with plus sign) and label: **反応**
- More options icon (three dots) and label: **詳細**
- Exit Meeting button (red text): **ミーティングを退出**

Other visible text in the interface includes:

- Zoom ミーティング ID: [Redacted]
- 全画面表示の開始 (Start Full Screen)
- Name
- 参加者 (Participants)
- チャット (Chat) Alt+H
- このコンピューターにレコーディング (Recording on this computer) Alt+R

# 画面を共有する

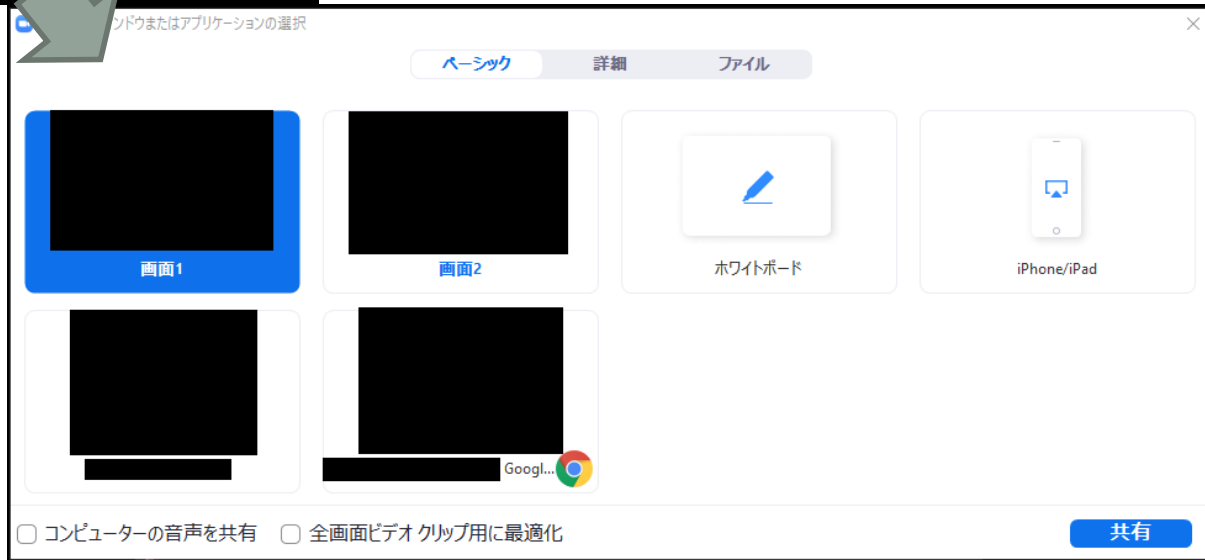
- 下のメニューから「画面を共有」を押して、「画面」を選択して、「共有」を押せば、学生の画面に教員の画面が映し出される



## 【映し出す例】

- プレゼンテーション資料
- 文書ファイル

「画面」を選択すると  
全ての画面が共有されて  
しまうため、  
個人情報の流出に注意！  
(ウィンドウ単位の  
共有も可能)



# グラウンドルール

---

学びにひらかれた場を一緒につくるために. .

- 「さん」づけで呼び合いましょう
- 「安心して転べる」「何からでも学べる」場です
- 傾聴の態度で
- 3K：敬意をもって、忌憚なく、建設的に



# TP チャートの更新について

---

# TP チャートを更新する意義

---

- 教育理念がよりクリアになる
- 教育理念を意識し続けられる
- 目標の実現とあらたな設定サイクルが授業改善につながる
- 成長し続けるための土台

# 更新の方法

---

- 直近のものから変更点を見つける「更新」
- 最初から作り直す「更新」

どちらを選択するかは、状況や目的次第

- 定期的な授業改善→直近から変更する「更新」
- 異動，前回から時間が経過→最初から作り直す「更新」

# 更新のタイミング

---

「自分にとって意味があるか」で判断

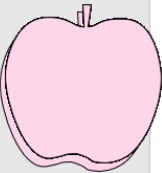
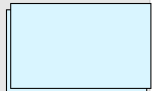
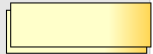
- 更新は手段であって目的ではない
- 具体的なタイミング
  - 1年毎（学事暦にあわせて）
  - 1-3年毎（短期目標にあわせて）
  - 教育活動内容が変化
  - 昇進・昇格の前後
  - 異動前後

# TP チャートを更新する

---

# デジタル版TPチャートについて

付箋が枠外に積んであります



上記に付箋を重ねてありますので、ドラッグしてお使いください。  
足りなくなったらコピーしてください。

専門 名前	作成 目的	感想	
責任 方法	理念		目標
	方針		紙のワークシートと同じ
	https://bit.ly/36rqdyV		
	改善・努力	成果・評価	

© 2016 Kayoko Kurita

[https://drive.google.com/drive/folders/14\\_vyJ7CQVU2zO1K\\_OpfSa6R0weYaxwKR?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/14_vyJ7CQVU2zO1K_OpfSa6R0weYaxwKR?usp=sharing)

# TP チャートの更新の実際

---

- TP の更新WS（栗田, 2012）を参考に設計
- 加味すべき今回の（これまでにない）特徴
  - デジタル版への移行作業
- 更新プロセス設計上留意した点
  - 前回のTPチャートを踏まえた更新
  - 更新作業が重すぎないこと
  - 自分の理念の再確認
  - 理念の実現手段としての「手元の方法」の確認

# 更新の全体像

---

- これから行う教育に向けてのTPチャートの更新
- 手続き
  - 0 全てをデジタルに転記する  
転記しながら全体を自分で理解する
  - 1 活動（責任，改善・努力，成果・評価）を確認
  - 2 理念と方針の確認
  - 3 理念・方針の具体化としての方法の確認，目標の再設定

責任の確認のあとは，理念から方針・方法  
という流れで見直す



# TP チャート更新 0 転記

---

- テンプレートファイルを開き, 「エビデンス」を除く全ての付箋を転記してください.
  - ファイル名は任意でかまいませんが, 初期状態のファイルということがわかるようにしておく
    - 例: 2020.05.04\_TPチャート\_v0.pptx
- 転記の完了した人
  - 名前の前に"完了"とつけてください
  - 理念と方針についてよりよい表現がないかを確認してください

# TP チャート更新 1 活動の更新

---

- ファイル名を変更しましょう
  - 例：2020.05.04\_TPチャート\_v1.pptx
- 作成目的をかきましよう
- 下記項目を順番に見直しましょう
  - 「責任」
  - 「改善・努力」
  - 「成果・評価」

## 話し手

- 自己紹介（所属・名前）
- 更新の目的
- 自分の教育活動の概要と特に今年度更新したところ

## 聴き手

- 積極的に関心をもって聴く
- 敬意をもって忌憚なく建設的に

# TP チャート更新 2 理念と方針

---

- 理念と方針を見直しましょう
  - もっとうまい表現, しっくりする表現があるか?
  - 質問1: この理念が大切な理由はあるだろうか?
  - 質問2: 具体的にどうなると〇〇といえるだろうか?  
(〇〇: 楽しい、幸せ、おもしろいなど)
  - 質問3: 〇〇と△△はどのような関係だろうか?
  - 質問4: 理念を実現するのに、この方針で十分だろうか?
  - 質問5: 方針に対して理念はちゃんと対応しているだろうか?

## 話し手

- 自分の理念と方針を相手に説明する

## 聴き手

- 積極的に関心をもって聴く
- 敬意をもって忌憚なく建設的に
- 指導でも詰問でもない問いかけ

# TP チャート更新 3 方法と目標

---

- 方法と目標を見直しましょう
  - 青い付箋は黄色に置き換わるか？
  - 理念・方針を実現する上で必要な方法は何か？
  - オンラインを念頭においても、おこななくてもよいです

## 話し手

- 自分の方法と目標を相手に説明する

## 聴き手

- 積極的に関心をもって聴く
- 敬意をもって忌憚なく建設的に
- 指導でも詰問でもない問いかけ

# 質疑応答

---



# 第2部

# オンライン授業で 教育理念を実現する

---

# 目次

- 第1部 (TP : ティーチング・ポートフォリオ)
  - はじめに
  - TP チャートの更新について
  - TP チャートを更新する
- 第2部
  - オンライン授業で教育理念を実現する

専門 名称	作成 目的	感想	
責 任	↑	理念	目標
	↑	方針	
		方法	
		改善・努力	成果・評価

はじめに

---

# 目的と到達目標

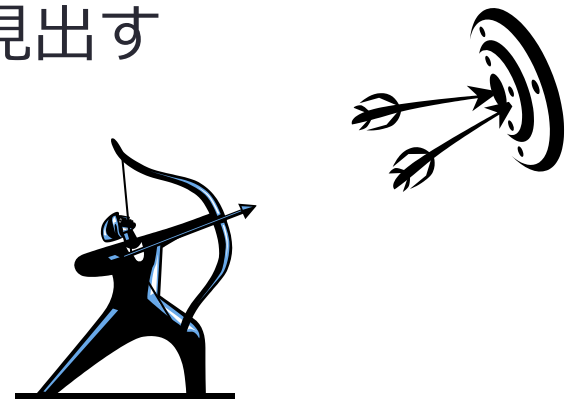
---

- 目的

- TPチャートにある理念・信念に立ち返り、これから行う/とりあえず行ってきたオンライン授業をよりよいものにする

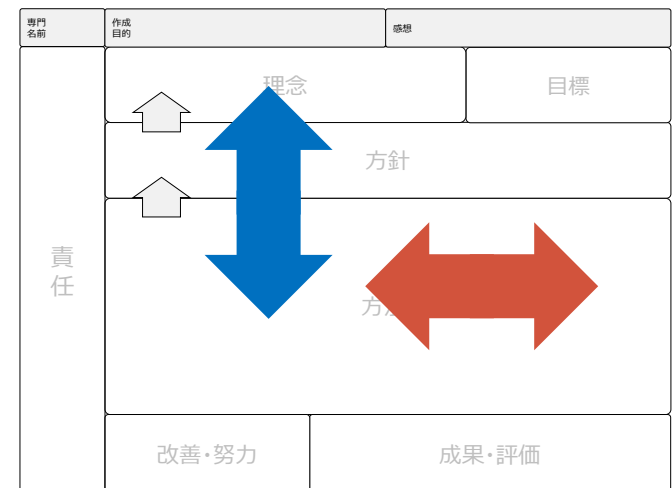
- 到達目標

- TPチャートにもとづき、
  - 「方法」をどうオンライン下で実現するかを見出す
  - オンラインだからこそできることを見出す
  - 参加者からの集合知を可視化する



# 授業オンライン化における TP チャート

- 「オンライン化」でせいいっぱいの状況
- 今こそ、自分の理念を確認してほしい
  - どのように生徒・学生に育ててほしいのか？
  - 自分は教師としてどうありたいのか？
  - 何を伝えたいのか？
- オンラインで授業をするにあたって
  - オンライン化に関するどんな方法を知りたいのか？
  - 今知っているオンライン化の知識は、自分の理念にどう結びつくのか？



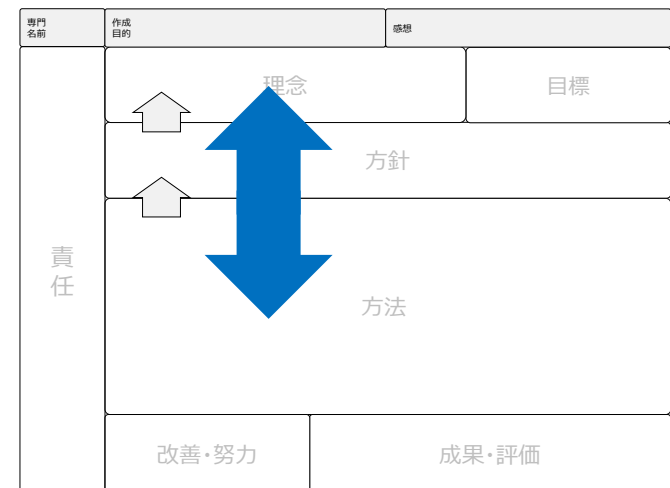
# オンライン化に際して

- 自分の現在の方法は、どのような形でオンラインで実現できるのか？
  - 今すでにやっていることは黄色ふせん、これから必要なことは青色ふせんに書き出し、対応する「すでにある黄色ふせん」の上に貼る  
→青色ふせんだけで具体的に書けない場合は赤字で

専門 名前	作成 目的	感想	
責 任		理念	目標
	↑	方針	
	↑	方針	
		方針	
		改善・努力	成果・評価

# オンライン化に際して

- 今知っているオンライン化の知識はどう結びつくのか？
  - (既存の方法には該当しないが) 既に知っているオンラインの知識について, 活用するならば, 自分のどの方針や理念に結びつくのかを考える  
「これって, どこかに使えるんだろうか？」



# グラウンドルール

---

学びにひらかれた場を一緒につくるために. .

- 「さん」づけで呼び合いましょう
- 「安心して転べる」「何からでも学べる」場です
- 傾聴の態度で
- 3K：敬意をもって、忌憚なく、建設的に



# 共有

---

まず全員で自己紹介（全体で3分程度）

- 名前・所属

話し手（一人20分程度）

- オンラインにしたい方法で、聞きたいこと
- こういう方法を知っている、という情報提供

聴き手

- 積極的に関心をもって聴く
- 敬意をもって忌憚なく建設的に

# 集合知の共有

---

- 学んだことの整理と可視化
  - あとでニックネームを消して共有します
- google sheetに記入（20分程度）
  - 先頭に自分のニックネームを記入してからスタート
  - 不明部分は？と示しておく→誰かが埋めてもOK

# 質疑応答

---

# 參考資料

---

# 参考文献

- 栗田佳代子, 吉田壘 (2019) 「ティーチング・ポートフォリオ作成講座(第12回)ティーチング・ポートフォリオの活用と更新」, 看護教育, 60(3), 248-254
- 栗田佳代子, 吉田壘, 大野智久 (編著) (2018) 「教師のための『なりたい教師』になれる本!」 学陽書房
- 栗田佳代子(編) (2014) 「ティーチング・ポートフォリオの定着・普及に向けた取り組み—効果検証・質保証・広がり」 大学評価・学位授与機構
- 栗田佳代子(編) (2012) 「ティーチング・ポートフォリオの導入と次のステップ — 導入とその先の課題, および更新ワークショップの提案 —」 大学評価・学位授与機構
- Yoshida, L., & Kurita, K. (2016). Evaluation of Structured Academic Portfolio Chart and Workshop for Reflection on Academic Work. *Procedia Computer Science*, 96, 1454-1462.
- 大学評価・学位授与機構監訳・栗田佳代子訳 ピーター・セルディン著(2007) 『大学教育を変える教育業績記録』 玉川大学出版部 (Peter Seldin (2004) *The Teaching Portfolio: A practical guide to improved performance and promotion/tenure decisions* 3rd ed. Anker Publishing Company, Inc.)
- 吉田壘, 栗田佳代子 (2016) ポートフォリオ作成を支援するメンタリングチェックシートの開発と応用, 大学教育学会誌, 38(1), 172-180
- 吉田壘, 栗田佳代子 (2015) 大学院生版アカデミック・ポートフォリオの開発, 日本教育工学会論文誌, 39(1), 1-11

# TPチャート作成参考資料

- 栗田佳代子・吉田壘・大野智久 (編著) (2018)  
「教師のための『なりたい教師』になれる本!」  
学陽書房  
初等中等教育担当の先生向けに書かれたTPチャートの作成・見直し・活用についてまとめてあります
- 栗田佳代子・吉田壘 (2018) 「教師個々の軸を確立し、組織づくりへ」キャリアガイダンス 422, 35-39  
<https://shingakunet.com/ebook/cg/422/#page=35>  
TPチャートについてコンパクトにまとまっている記事です。
- 栗田佳代子・吉田壘 (2018) 「ティーチング・ポートフォリオ作成講座」看護教育 4月号 (58号) ~ (連載)  
ティーチング・ポートフォリオ作成までを12回の連載で紹介します。  
5月号が「TPチャートの作成」です。
- <https://kayokokurita.info/>  
TP・TPチャート関係の各種資料がダウンロードできます。
- Facebookグループ ティーチング・ポートフォリオ (TP)  
<https://www.facebook.com/groups/TP2007/>  
開催情報、各地の開催報告などの共有がされています。



# ティーチング・ポートフォリオ研究会

## ティーチング・ポートフォリオ研究会

Association for Teaching Portfolio

ホーム

研究会について

会員登録

TP とは

資料

ニュース

お問い合わせ

□ ホーム >

a4tp.info

### 本ホームページについて

ティーチング・ポートフォリオ研究会のホームページです。  
ティーチング・ポートフォリオに関連する情報を発信していきます。  
本研究会に関する詳細については[こちら](#)をご覧ください。

### ニュース

[TP研究会のチラシ作りました](#)

ティーチング・ポートフォリオ研究会のチラ ...

□ サイト内検索

検索

### 最近の投稿

[TP研究会のチラシ作りました](#)  
[第1回 TP 研究会総会のお知らせ](#)  
[規約・規則を追加しました！](#)  
[ホームページを開設しました！](#)

### TP パンフレットご要望の方へ

TP のパンフレットをご要望でしたら、[お問い合わせ](#)から、使用目的、必要部数、送り先住所の情報をお送りください。担当者が確認の上、指定された住所へパンフレットをお送り致します。